

10/14(金) 江の島山頂に車いす利用者を招待 サービス介助士の大学生ボランティアが介助とおもてなし

10/14(金)江の島で開催される「第9回 車いす利用者江の島見学会」(主催：藤沢湘南ライオンズクラブ(藤沢市、会長 十日市克美))に鎌倉・藤沢・茅ヶ崎市内の高齢者を含めた車いす利用者約25名が招待されます。(公財)日本ケアフィット共育機構(東京都千代田区、代表理事 畑中稔)が認定・運営する資格「サービス介助士」を取得した大学生ら約40名が介助ボランティアとして参加し、江の島頂上のサムエル・コッキング苑までご案内します。

本イベントは人気観光地である江の島のバリアフリー化を目指して藤沢湘南ライオンズクラブが毎年開催する人気企画で、今年で9回目を迎えます。急勾配の江の島の道は車いすを利用する高齢者や障がい者には難しく、介助を学ぶ「サービス介助士」の資格を取得した大学生ボランティアが参道で介助を担当し、車いすに乗ったまま車内に乗ることができる軽自動車で頂上まで移動します。頂上ではサムエル・コッキング苑をボランティアと周り、藤沢湘南ライオンズクラブの式典が催されます。



■開催スケジュール

9:30～ 見学会参加者順次到着 山頂へ案内
 11:30 江島神社宮司のよる祈願・お祓い式
 12:00 式典セレモニー
 ～12:30
 13:00 順次下山開始
 15:00 見学会終了



■公益財団法人 日本ケアフィット共育機構について

日本ケアフィット共育機構は、超高齢社会の到来をふまえ、誰もが安心して暮らせる共生社会を目指し、高齢者や障がい者をはじめとするあらゆる人々が安心して外出できるよう環境づくりを推進しています。サービス介助士をはじめとする資格認定、小学校における介助体験教室の実施、バリアフリーの監修などを行う他、近年はブラインドサッカーや車いすバスケットなどパラスポーツ大会において、年齢や障がいの有無に関わらずスポーツの感動を共有できるよう介助ボランティアとしての活動を行っています。

■サービス介助士とは

「サービス介助士」とは、おもてなしの心と介助技術を学ぶ、(公財)日本ケアフィット共育機構が認定する資格です。15年の歴史があり、全国1000社、13万人が取得し、年齢や障がいの有無に関わらず全ての人が安心して外出し社会参加できる共生社会の実現に寄与しています。鉄道、金融、流通などの各業界がソフト面におけるバリアフリー対応とホスピタリティの提供のために資格取得を推進しています。

【主な導入企業】

JR東日本、みずほ銀行、小田急電鉄、相模鉄道、江ノ島電鉄、さがみ信用金庫、KSPグループ他



安心のサービス介助士マーク



視覚障がい者手引き演習



サービス介助士の実技教習

問い合わせ先

公益財団法人 日本ケアフィット共育機構 広報室：佐藤
 東京都千代田区三崎町 2-2-6 03-6261-2333 FAX：03-6261-2334
 E-mail：toiawase@carefit.org URL：http://www.carefit.org